

学校と家庭の「学び」をつなげる鑑賞

今後の感染の拡大に備え、学校と家庭の「学び」をつなげる鑑賞の活動を提案します。
もちろん、通常の授業で活用できるポイントも、**ぎゅーっ**と詰め込んでいます！



第5・6学年 【題材名】どんな世界が見えてくる？～絵から広がる物語～

本題材の目標

知識及び技能	【知識】自分の感覚や 行為 を通して、形や色などの造形的な特徴を理解する。〔共通事項〕(1)(7)
思考力・判断力 ・表現力等	形や色などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもちながら、作品の表現の意図や特徴などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深める。〔B鑑賞〕(1)〔共通事項〕(1)(4)
学びに向かう力、 人間性等	主体的に色や形などの造形的な特徴を基にイメージをもちながら鑑賞する学習活動に取り組もうとする。

鑑賞なのに、なぜ「行為」を入れたのでしょうか？
ここでは、作品の鑑賞をする際に、目だけでなく、**指で形をなぞってみることで、リズムを感じたり、動きを感じ取ったりできる**と判断して入れています。
ちょっとした指導の工夫で、子供たちは体全体で作品を味わえるようになりますね！

課題の設定

① 作品を鑑賞して、どんな世界が見えてくるかを考える。

これは何？と思うような抽象画も、子供たちが色や形を基に、自由に想像を膨らませるにはぴったり！子供たちが、どんなことを想像するか？と考えながら作品を選んでみてください！

② 作品の中から、気になったものや見付けたこと、感じたことなどをワークシート等へ書き出す。

- ・いろいろな色があっけきれいな。
- ・三角形がたくさんあるよ。
- ・まるい形もたくさんあるな。
- ・大きいまると、小さいまるとがあるぞ。
- ・右下の半円は何だろう。
- ・黒い横の線があるな。
- ・左の方には上下向きの矢印みたいなものがあるよ。

- ・背景が黒だから夜の世界かな？
- ・右の方にある、三角形が上に伸びているのは、木に見えてきたよ。
- ・右上の丸はお月様かな？
- ・お月様から小さい丸が飛び出してるよ。テンテンテン・・・あれは、お月様の光かもしれないな。
- ・左の黄色い三角は空から降ってきたのかな。流れ星？



ワシリー・カンディンスキー「3つの音」

鑑賞に正解はありません。子供たちひとりひとりが作品から感じ取ったり考えたりして、自分なりの見方や感じ方を深めることが大切です。
その際、形や色などの造形的な特徴を根拠として、なぜそのように感じたのかを言葉で整理し、明確にすることが大切です。

思考・表現する

③ 作品と②を基に、想像を膨らませて作品名を考える。

家庭で学習を行う場合は、しっかりと時間を確保できるので、絵に描かれている場面はどのようなお話の一場面かを、色や形、イメージを根拠として想像する活動を仕組んでみることもできますね。

④ 作品名を紹介し合う。

- ・作品の(この)部分から(このよう)に感じて、作品名を「〇〇」にしました。
- ・わたしも、Aくんと似たようなことを感じたよ！
- ・ぼくは、Aくんとちがって、(こう)感じたから、「△△」という作品名にしたよ。同じ作品を見ても、こんなに感じるのがちがうんだね！！

友達の考えを知ることで、新たな価値に気づき、見方・感じ方が広がってきますね。

⑤ 本当の作品名を知る。

この作品は、カンディンスキーという人が描いた、「3つの音」という作品でした！

- ・音を絵で表したの？
- ・すごいなあ。
- ・どんな音だったの？

他者と共有する



感染症予防を踏まえ、家庭でもできること、学校でなければ難しいことを分けて整理しました。友達の思いを共有する活動は、ICTを活用して(テレビ会議システム等)、作品の中の根拠となる部分を示しながら説明することも可能です。

家庭学習で

学校で・家庭で

学びをつなぐ



表現する活動へ・・・

「音からはじまる不思議な世界」
様々な音を聞いて、思うままに手を動かしてみよう！
できた形や色を生かして、
自分の世界を絵で表現してみよう！

国語科へ・・・

「絵から生まれたお話(詩)」
作品からどんなお話が想像できる？
短いお話や詩を書いてみよう！

音楽科へ・・・

「絵から聴こえる音の世界」
作品からどんな音が聞こえてくるかな？
いろいろな楽器を使って、
形や色を音色やリズムで表してみよう！